資料１－１

「(仮称)板橋区地球温暖化対策実行計画(区域施策編)2025」答申案（概要説明）

１　磐田部会長より

前回の審議会からの検討経過について、ご報告いたします。

１月の審議会では、環境政策・温暖化対策部会における「将来像」、「基本方針」、「削減目標」や「施策」など多岐にわたる２回の議論を経て「素案」を審議しました。

その成果である素案については２月に公表し、パブリックコメントの募集を行いました。

３月の環境政策・温暖化対策部会においては、原案を作成して、「未来予想図（２０５０年までの工程表）」・重点施策の指標のほか記載内容の精査など多岐に渡る検討を行い、お手元の「案」としてとりまとめたところです。

とりまとめにあたり、部会委員や区担当者の皆様に大変ご尽力頂き、心より感謝申し上げます。

部会では、板橋区が目指す2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、区民や事業者に何をして頂きたいのか、そして区はそれをどう支援するのかを、わかりやすく明示した実行計画とすることに主眼を置いた検討をして参りました。

資料については、事務局から説明をお願いします。

２　環境政策課（事務局）より

今回、２月の資源環境審議会やパブリックコメントおよび３月の第５回環境政策・温暖化対策部会で頂戴したご意見（資料１－５・１－６・１－７）を踏まえるとともに、庁内における調整を経て答申案を作成しました。

それでは、資料１－２の要約版には記載していない変更点もあるため、資料１－３について、主な変更点を以下の表の通りご説明いたします。ご理解の一助となりましたら幸いです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **章****頁数** | **主な意見** | **主な変更内容** |
|
| 表紙など | ―(素案で調整中だった部分) | 表紙および区長挨拶を追加 |
| 第１章P8・第２章P22～23 | ―(素案で調整中だった部分) | 素案において調整中としていたP8の「2050年に向けた俯瞰図」は、将来像や基本方針の記載が入ったため、将来像や基本方針の説明がされたあとの第２章のP22～23へ掲載し、P8へは区長がCOP24ジャパンパビリオン・セッションに登壇し取組事例を紹介した内容を掲載（当初P8に掲載を検討した「カーボンニュートラルの広がり」は、依然として国レベルでの議論が続いており、結論が出ていない。また、脱炭素社会の実現に向けた日本の技術体系や社会の在り方についての方向性が既に定まっているかのような誤解を読者に与え、自由な発想に基づく今後の幅広い議論の芽を摘むものになる懸念があるため、掲載しないこととした） |
| 第２章P10 | 第２章中扉裏の副題が１章のものと似ているため、修正が必要である。 | 第２章中扉裏の副題を以下のとおり修正（変更後）オール板橋で協働・連携による取組を推進（変更前）オール板橋で脱炭素社会（ゼロカーボンシティ）をめざします |
| 第２章P14 | 第２章　１-⑸地球温暖化に対する適応」の内容が前頁と一部重複している。また、気候変動への適応策を盛り込む契機となった気候変動適応法の施行についての説明が見当たらない。 | 気候変動適応法の施行についての説明を追加するなど、記述を整理 |
| 第２章P15～18 | ―(素案で調整中だった部分) | 第２章において以下の項目が「１ 地球温暖化の現状と将来予測」の（６）～（１０）になっており、項目名と合っていなかったため、「２　前計画策定後の動向」の項目を追加し、整理（１）パリ協定の採択（２）ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の採択（３）新型コロナウイルス感染症によるパンデミックの発生（４）新型コロナウイルス感染症拡大が地球温暖化対策に及ぼす影響（５）ポストコロナ時代における地球温暖化対策のあり方 |
| 第２章P21 | 「環境だけでなく防災の視点も含めてまちづくりと一緒に、それがＳＤＧｓである」ということが重要で、わかりやすく、目立つようにしたほうがよい。 | 第２章 ４-(２)の図「将来像と基本方針」の名称を「計画の施策体系構成」に修正し、「計画推進・施策展開にあたっての基本的な視点～コロナ禍からのグリーンリカバリー～」を新たに追加・ＳＤＧｓ×ＤＸ・気候変動×防災・まちづくり |
| 第３章P26 | 第３章の中扉裏にある空のイメージ写真が何を表しているのかわからないため、変えるべきである。 | 第３章の中扉裏にて、空のイメージ写真を削除し、「図 ゼロエミッション東京戦略」を掲載 |
| 第３章P27 | 第３章の施策の体系において「取組内容」にぶら下がる施策数を付記しては如何か。 | よりわかりやすくするため、施策数を付記 |
| 第３章P28～P49 | ―(素案で調整中だった部分) | ・未来予想図（2050年までの行程表）を追加（P28・29）・基本方針Ⅰ～Ⅵ　に「2050年までの工程」を追加（P31・36・40・42・45・49） |
| 第３章P35 | 第３章において、小豆沢プール棟の図は、より分かりやすい図にかえたらどうか。 | 図をより分かりやすいものに差し替え、説明も修正 |
| 第３章P38 | 第３章の施策「次世代自動車等の普及促進」に関連し、都のＺＥＶ化に関する補助メニューをコラムなどで紹介してはどうか。 | 補助メニュー等の紹介コラムを作成 |
| 第３章P52～55 | ―(素案で調整中だった部分) | 指標について以下のとおり掲載・Ⅰ-1-2　家庭・事業者による省エネルギー行動　いたばし環境アクションポイント制度参加者数・Ⅰ-2-1 建物の断熱化、省エネルギー設備の導入　大規模建築物の建設時における蓄電池・燃料電池・断熱窓導入率・Ⅱ-3-1 緑のカーテン、屋上緑化等の導入　生産緑地地区の指定面積、緑のカーテンに関する情報提供回数(SNS等)・Ⅲ-2-1 地球環境等に配慮した設備投資等に対する支援　板橋製品技術大賞応募数・Ⅴ-1-1 ESD 及びSDGs の視点を踏まえた環境教育の実践　環境学習施設等の来館者数・こども動物園利用者数（※の排泄物の堆肥化量は計測をしていないため指標からは外した。）・Ⅵ-2-1 熱中症アラートなど、予防のための熱中症対策情報の提供と活用　区内熱中症搬送者数(熱中症の疑いを含む) |
| 第３章P27・参考資料P73～74 | P30のページの見方以外に、施策の取組主体表示に「区」がなく、区が何もせず家庭と事業者に丸投げしているような印象を与えるのではないか | 今回作成した参考資料１の「１　本計画における施策の一覧と関連する部署」(P73・74)について、第３章　P27「１　施策の体系」の下部にて、P73・74の案内に関する記述を追加し、区の取組についてもさらに明示した。 |

※その他細かい文言やレイアウトの修正、用語解説の追加、掲載ページの順序入替え等を実施

以上をふまえて今回、本計画書の内容をわかりやすく説明した概要版（資料１－４）を作成しました。区民や事業者が集まる場所（図書館・地域センター・エコポリスセンター・学校等）に冊子を置き、イベントやＨＰなどを活用して広く周知を図っていきます。

３　今後のスケジュール

今後のスケジュールにつきましては、４月22日に資源環境審議会から板橋区長に答申をお渡しし、４月27日の「エコポリス板橋」推進本部にて最終案の決定、５月12日の区民環境委員会にて最終案の報告を経て策定の予定です。

４　環境政策・温暖化対策部会について

令和元年11月15日開催の第51回資源環境審議会において、東京都板橋区資源環境審議会条例第9条に基づき、「（仮称）板橋区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）2025」の策定について調査審議するため設置した、環境政策・温暖化対策部会については、令和３年３月に開催した第５回部会をもって最後となります。

 以上